

ホルムアルデヒド発散区分 (住宅部品表示ガイドラインによる)	F☆☆☆☆
構成材料	
ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分
集成材	F☆☆☆☆

施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。

この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様に保管頂くよう依頼してください。

FP367 1310

安全のために必ずお守りください


●ここでは施工に際して守って頂かないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。


施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。


用語および記号の説明

警告……取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます


注意……取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害の発生が生じることが想定されます


 ……「注意しなさい！」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください)


 ……「してはいけません！」(一般的な禁止記号です)

 ……「指示通りにしなさい！」(一般的な行動指示記号です)


警告


 浴室など高温多湿な場所には設置しないでください
※木材の劣化のおそれがあります


 ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください
※変色や変形、火災をおこすおそれがあります


 紙巻器の固定位置には、壁裏の補強をしてください
※取付物の落下、転倒によりけがをするおそれがあります

注意

 工事完了後に、紙巻器の固定にがたつきがないか確認してください
※使用中に落下してけがをするおそれがあります

 製品に強い力や衝撃を与えないでください
※故障や漏水の原因になります〔手洗器は陶器製です〕

 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください ※変色や変形の原因になります

 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、紙巻器を拭かないでください
※変色や変形の恐れがあります。溶剤がつきますと跡が残ることがあります

施工前の確認

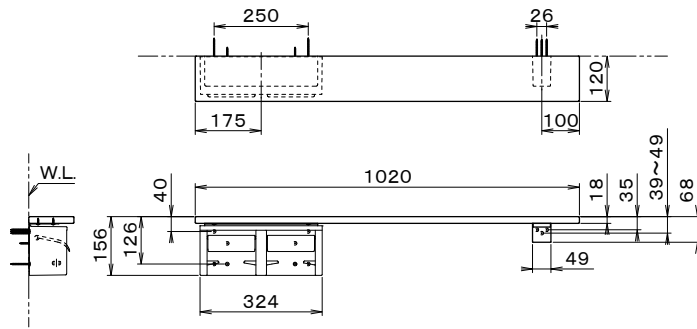
■壁面補強材の確認

- ・器具の壁固定位置には補強材として厚さ12ミリ以上の普通合板(JAS規格相当)または補強木(幅90mm×厚み30mm以上)を建築施工の際にあらかじめ設けてください。
- ・コンクリート、タイル壁の場合は、市販のコンクリート用プラグ等を使用して施工してください。

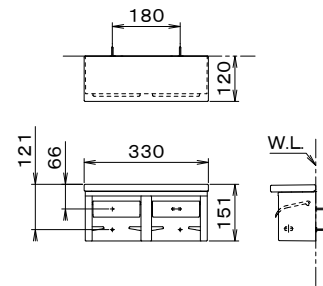
寸法図

●カウンター付2連紙巻器(左勝手)

(右勝手は左右対称になります)



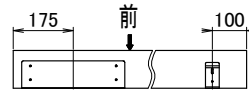
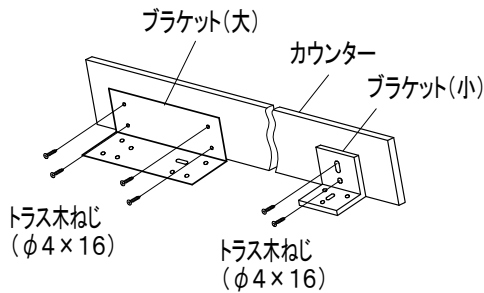
●棚付2連紙巻器



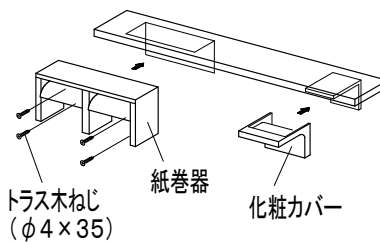
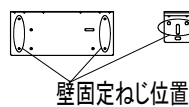
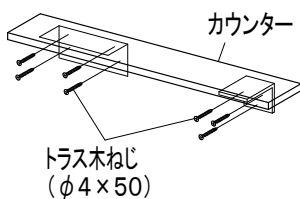
施工

■カウンター付2連紙巻器の場合

- ・カウンターにブラケット(小)をトラス木ねじ(φ4×16:2本)で、ブラケット(大)をトラス木ねじ(φ4×16:4本)で取り付けます。※ブラケットの位置決めは施工型紙を使用してください。
- ・カウンターの水平を確認し、ブラケット(小)をトラス木ねじ(φ4×50:3本)で壁に固定します。
- ・ブラケット(大)をトラス木ねじ(φ4×50:4本)で壁に固定します。
- ・ブラケット(大)の穴に合わせて紙巻器をトラス木ねじ(φ4×35:4本)で壁に固定します。
- ・ブラケット(小)に化粧カバーを取り付けます。



左勝手の場合
(右勝手の場合は、左右逆になります)



■棚付2連紙巻器の場合

- ・水平を確認し、紙巻器をトラス木ねじ(φ4×35:4本)で壁に固定します。

施工後の確認

■紙巻器の固定の確認

- ・取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。

ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL (0569) 35-3151